

国際自然保護連合日本委員会 2017 年度事業報告
(2017 年 4 月 1 日-2018 年 3 月 31 日)

2018 年 6 月 12 日 会員総会にて承認

1. 団体としての記録

1.1. 加盟団体

2018 年 2 月 22 日段階で、国際自然保護連合(IUCN)に加盟している日本の団体は、国家会員 1(外務省)、政府機関会員 1(環境省)、非政府組織 15 の計 17 団体となる。

内、IUCN 日本委員会(IUCN-J)加盟団体は、本部が IUCN 加盟団体となっている 2 団体・準会員 1 団体を合計し、計 20 団体となる。

1.2. 会議開催

- 4 月 25 日 役員会
- 5 月 24 日 運営委員会
- 6 月 6 日 にじゅうまる運営会議
- 6 月 12 日 会員総会
- 6 月 19 日 生物多様性条約事務局長 Cristiana Paşca Palmer 氏来日意見交換会
- 7 月 10 日 にじゅうまる運営会議
- 8 月 25 日 役員会
- 9 月 1 日 にじゅうまる運営会議
- 9 月 27 日 第 1 回中長期計画改定会
これまでの活動振り返り・IUCN-J の SWOT 分析・新中長期計画の構成検討
- 9 月 29 日 にじゅうまる運営会議
- 10 月 18 日 第 2 回中長期計画改定会
ビジョン・ミッション・活動内容の検討
- 10 月 26 日 にじゅうまる運営会議
- 11 月 13 日 役員会
- 11 月 14 日 第 3 回中長期計画改定会
成果目標・中期計画の検討
- 11 月 22 日 IUCN 会員会合(中長期計画改定会の状況説明)
- 12 月 22 日 にじゅうまる運営会議
- 1 月 16 日 役員会
- 1 月 29 日 にじゅうまる運営会議
- 2 月 27 日 役員会
- 3 月 15 日 運営委員会
- 3 月 29 日 会員総会

2. IUCN-J 事業

2.1. 団体運営

- IUCN-J および IUCN の会員拡大に向け、広報・勧誘活動を行った。
- IUCN-J の恒常的な発信業務やレッドリスト等のメディア対応・問い合わせ対応を実施した。
- IUCN 親善大使であるイルカさんの、イルカ with Friends コンサート(7月29日)での活動広報・募金活動を実施した。

2.2. 協定締結団体との活動

- 生物多様性条約事務局との MoU(2011.12月署名)に基づき、CBD 事務局長との意見交換、CBD-CEPA-IAC 非公式助言会合(IAC-*Informal Advisory Committee*)や SBSTTA21 期間中の CBD 事務局との意見交換などを行った。
- 国立環境研究所との間の基本協定(2013年7月16日締結、愛知ターゲットの達成や、にじゅうまるプロジェクトに関する科学者・研究者との協働を進める)につき、この協定に基づく意見交換等は、今年度は実施していない。

2.3. 外部委員会等への参加

■ UNDB-J への参画

委員会(6月22日)、幹事会(8月24日、3月14日)、運営部会(6月7日、8月10日、2月16日)、UNDB-J 全国フォーラム(9月7日) 担当:道家哲平(日本自然保護協会・IUCN-J 事務局長 以下肩書き略)

■ SATOYAMA イニシアティブ推進ネットワークへの参画

総会(11月7日、3月15日)、幹事会(7月12日、2月16日) 担当:安藤よしの(ラムサールネットワーク日本)、名取洋司(コンサベーションインターナショナルジャパン)

■ IUCN アジア地域委員会 (2017年9月18日~20日) 担当:道家哲平

■ CBD-CEPA-*Informal Advisory Committee* (10月11日~13日) 担当:道家哲平

2.4. 講演依頼等への対応

<講演等>

- 経団連「環境基礎講座【生物多様性編】」(経団連自然保護協議会、8月6日) 担当:渡邊綱男(自然環境研究センター・IUCN-J 会長、以下肩書き略)
- SDGsのパートナーシップを考えるワークショップ(グローバルコンパクトジャパン SDGS 分科会、9月25日) 担当:道家哲平
- 中央環境審議会総合政策部会との意見交換会(環境省、9月27日) 担当:道家哲平
- SAVE ジャパンプログラム報告会(日本 NPO センター、11月2日) 担当:日比保史(コンサベーションインターナショナルジャパン・IUCN-J 副会長)
- China-Korea Environmental Cooperation Committee Project (韓国環境研究所(KEI)、11月22日) 担当:道家哲平
- 民間参画パートナーシップ第7回会員会合(経団連自然保護協議会、2月19日) 担当:道家哲平

<表彰制度委員依頼>

- 生物多様性アクション大賞 2017 審査委員長 担当:渡邊綱男
- 第5回いきものにぎわい企業活動コンテスト 審査委員 担当:渡邊綱男

< 執筆 >

- 『環境と正義』(環境法律家連盟) 担当:道家哲平
- 『野鳥』(日本野鳥の会 会報) 担当:道家哲平
- 『基本解説 そうだったのか。SDGs』(SDGs 市民社会ネットワーク発行) 担当:道家哲平
- 最新の自然遺産解説 世界遺産年報 2018 担当:吉田正人(日本自然保護協会)、米田久美子(自然環境研究センター)

2.5.主催・共催・後援・推薦事業

表 1(末尾)参照

3. にじゅうまるプロジェクト

にじゅうまるプロジェクトを中心とした生物多様性の主流化推進のための活動を継続し、更なる事業と登録の拡大を行った。

3.1. 宣言事業の世界広報事業

3.1.1. 生物多様性条約関連会合などへの参加を通じた、国際的情報収集・情報発信

生物多様性条約第 21 回科学技術助言補助機関会合(以下、SBSTTA21)(カナダ・モントリオール、12 月 11~14 日)に道家哲平(IUCN-J 事務局長/副会長)が参加し、情報収集や国際連携の機会とした。収集した成果は、にじゅうまるプロジェクトウェブサイトで公開した他、1 月 16 日に IUCN 会員向けの報告会を実施。1 月 29 日には生物多様性市民社会ネットワーク主催の報告会で報告を行った。

3.2. 宣言促進事業

3.2.1. 2020 宣言の実現に向けた連携構築

3 月 29 日現在のにじゅうまる宣言は、543 団体 746 宣言となった。電機・電子 4 団体・岡山市・愛知県などとの協働の結果、昨年度末の数字(379 団体 472 事業:2017 年 3 月 9 日)と比較すると、164 団体 274 宣言の増加となり、伸び率は過去最高を記録した。

電機・電子 4 団体は、電機電子業界の企業が加盟する業界団体 4 団体で構成される連合体であり、同団体生物多様性ワーキンググループでは、加盟企業が実施する生物多様性保全活動の事例データベースを構築している。この生物多様性保全活動の担当者に、にじゅうまる宣言を促す連絡を同団体担当者の方から行って頂いた結果、約 180 件の事例が宣言された。宣言された事例はにじゅうまる運営委員で確認し、必要だと判断された事例に関しては、ガイドラインの送付などを実施した(例:工場緑地の活動をしている企業に、緑化に関するガイドラインを送付)。

また、いきものにぎわい企業活動コンテストとの連携を開始し、同コンテストの応募フォーム内に、にじゅうまる宣言への推薦可否を問う項目を設置頂くなどを行った。

3.3. 連携強化実施事業

3.3.1. 協働事業の実施

下記機会において、協働事業を実施した。

a) 国際生物多様性の日(5 月 22 日):

2017 年の国際生物多様性の日テーマであった、「持続可能な観光と生物多様性」にちなみ、大阪市天王寺動物園にて、「国際生物多様性の日記念イベント 1 杯のコーヒーから始める生

物多様性保全の旅」を開催。大阪市天王寺動物園(主催)・国際自然保護連合(共催)で、住友商事株式会社、住商フーズ株式会社、小川珈琲株式会社、大阪生物多様性保全ネットワーク、認定 NPO 法人大阪自然史センター、ボランティアサークル「ZOO 人(ずーっと)」の協力のもと、展示・絵本読み聞かせ・トークショーが実施され、バードフレンドリー®コーヒーの試飲や販売なども行われた。参加者は 175 名となった。

b) 認定連携事業業務の運営

にじゅうまるプロジェクト等から認定される UNDB-J 認定連携事業の認定事務について、UNDB-J/Iki・Tomo 推進事務局として業務を実施した。今年度からは、いきものにぎわい企業活動コンテストとの連携を開始し、受賞団体は認定連携事業として認定を行える仕組みを構築した。

3.3.2. 想いでつなごう！おりがみアクションのイベントと、MY 行動宣言動物園水族館版の連携イベントの実施

動物園水族館における MY 行動宣言集めと連携する形で、2011 年から実施している「想いでつなごう！おりがみアクション」を実施した。上述の生物多様性の日のイベント開催や、中越パルプ工業株式会社との協働で実施した、上野動物園での竹紙パンダおりがみアクションなど、様々な場所で新たなパートナーとのイベント開催を行った。

3.3.3. にじゅうまる COP3 の開催

2018 年 2 月 17, 18 日に、にじゅうまるプロジェクトの全国大会である、にじゅうまる COP3 を國學院大學國學院大學研究開発推進センター・共存学研究プロジェクトとの共催で開催。「ヒアリとウナギと投資から見る、私達の生活の未来」をテーマとした全体会合、フォーラム、分科会、展示を含む複合的なイベントを開催した。分科会は、9 つのコーディネーター団体(下表参照)に協力を頂き実施した。17, 18 日の総参加者数は約 220 名、延べ参加者数は約 320 名であった。

No.	分科会名	コーディネーター団体
1	豊かな食の未来の実現に向けた生物多様性	「いただきますの日」普及推進委員会
2	ひと・生きものがつなぐ田んぼ～川～干潟～世界	ラムサール・ネットワーク日本
3	午前:ビジネスと自然資本	コンサベーション・インターナショナル・ジャパン
4	生物多様性地域戦略から考える地域の持続的な未来 ～生物多様性をSDGs目標から読みとく～	農と生きもの研究所
5	農と河川水辺の生物多様性向上活動の推進	オリザネット
6	身近な”コト”から生物多様性を主流化するには	生物多様性わかものネットワーク
7	午後:SDGs×生物多様性×協働でつくる持続可能な地域	SDGs 市民社会ネットワーク
8	サンゴ礁 ～海の生物多様性保全	公益財団法人 日本自然保護協会
9	教育的視点でみる「農と食」～若者を活動にどのように繋げていくか～	田んぼの生きもの調査フォーラム

4. 2020 年事業

4.1. 日中韓 IUCN 会員会合のホスト

10 月 14 日～16 日に、石川県にて第 2 回日中韓 IUCN 会員会合を開催した。テーマは「生物文化多様性」「次世代(ユース)育成」とし、国連大学サステイナビリティ高等研究所 いしかわ・かなざわオペレーティングユニットとの共催で実施した。

各国からユース代表枠で 2 名の参加者を募った他、IUCN 会員の参加があり、計 50 名弱の参加者となった。日中韓各国の生物文化多様性についての理解を深め、今後の日中韓連携について検討

を行った。会議最終日には成果文書の取りまとめを実施し、2020年までに行っていく事業の明文化を実施した。

4.2. IUCN の重要プログラム日本展開の検討

IUCN レッドリストの広報支援や更新への支援として、12月4日~8日の日程で、IUCN レッドリストに係るワークショップ開催支援を行った。ワークショップの参加者となった若手・中堅研究者への参加声かけなどの支援を実施した。トレーニングワークショップへの参加や、個別のアセスメントにかかる打合せなど、25名強の参加があった。

4.3. 長期方針の見直し検討

中長期計画の改訂会を3回実施し、中長期計画の改訂を実施した。上述4.1の機会を活用し、IUCN アジアオフィスの Raj 氏に講演を頂いた。10名弱の NGO 若手職員・生物多様性わかものネットのメンバーなどが参加し、IUCN と SDGs についての理解を深めた。

5. 活動基盤強化

5.1. 運営強化

上記2.-4.の事業を実施するため、体制整備・ウェブサイトやツールの改良、恒常的な発信業務、寄付呼びかけ等を実施し、にじゅうまるプロジェクト運営委員会を隔月開催した。

ウェブサイトアクセス数(外部非公開情報)

期間:2017/2/23~2018/2/23

	にじゅうまるプロジェクト	IUCN-J
年間 PV 数	9,007	約 41,000
セッション数	約 12,000	約 49,000
閲覧数 1 位	トップページ(6,847PV)	トップページ(25,100PV)
閲覧数 2 位	愛知ターゲットとは(3,035PV)	レッドリストについて(22,102PV)
閲覧数 3 位	にじゅうまるプロジェクトとは(2,486PV)	IUCN とは(9,710PV)

5.2. ユース育成を通じた基盤強化

9月2日-3日に行われた生物多様性わかもの会議(つくば・茨城)の開催支援を実施した。

国際会議参加支援として、5月21日~28日開催のシンガポールワークショップへの参加支援(長谷山陽大:東京農工大学、竹尾亮祐:上智大学、飯田康平:東京都市大学)、SBSTTA21 への参加支援(有見亜佐土:横浜国立大学、大江奈巳:中央大学)を実施した。

6. 謝辞

本事業の実施に際しまして、下記の企業から御協賛の御寄付を頂きました。(50音順)

ここに厚く御礼を申し上げます。

IUCN 親善大使 イルカさんより、コンサートを通じた募金

株式会社 良品計画【大口寄付】

リゾートトラスト株式会社

中越パルプ工業株式会社(物品支援)

表1 主催・共催・後援事業

主催／共催等 事業			
No	日付	事業名	種別(主催／共催／おりがみ)
1	2017/4/2	天王寺動物園企画展:絶滅の危機にある動物・外来生物の脅威	おりがみ
2	2017/05/21	国際生物多様性の日記念イベント 1杯のコーヒーから始める生物多様性保全の旅	共催/おりがみ
3	2017/06/17	きしわだ自然資料館:加茂先生の折紙ワークショップ	おりがみ
4	2017/7/2	宗次ホールでのおりがみアクション	おりがみ
5	2017/07/16	天王寺動物園:絶滅危惧種をおりがみで折ろう	協力/おりがみ
6	2017/07/29	イルカ With Friends Vol.13 開催	主催
7	2017/08/19	御坊夏まつりにておりがみアクション	おりがみ
8	2017/9/1-30	エコパルなごやでのおりがみ展示	おりがみ
9	2017/9/16	環境デーなごや 2017 ブース出展	おりがみ
10	2017/9/24	名古屋科学館 創造の広場にておりがみアクション	おりがみ
11	2017/10/14-16	第2回 日中韓 IUCN 会員会合	主催
12	2017/10/15	生物文化多様性フォーラム@金沢	おりがみ
13	2017/10/26	上野動物園:竹紙パンダおりがみワークショップ	おりがみ
14	2017/11/11	おりがみアクション in かしはら	おりがみ
15	2017/11/11	タイムカプセルプロジェクト 2017@東山動物園	共催/おりがみ
16	2017/11/18,19,25,26	秋ラボ海遊館-いのちのつながりを考えよう- おりがみアクション	共催/おりがみ
17	2017/11/19	名古屋市省エネ・創エネ普及開発イベント	おりがみ
18	2017/12/7-9	エコプロダクツ展 2017	おりがみ
19	2017/12/10	グリーンスマイルフェスタでおりがみアクション	共催/おりがみ
20	2017/12/17	東別院 報恩講でのおりがみアクション	共催/おりがみ
21	2018/1/3	伝統の魅力 2018 津軽三味線コンサートでおりがみアクション	共催/おりがみ
22	2018/01/16	SBSTA21 報告会 (IUCN-J 会員向)	主催
23	2018/01/29	SBSTA21 報告会	共催
24	2018/2/17-18	にじゅうまる COP3	主催
25	2018/03/04	第16回スマスイボランティアフェスタ@神戸市立須磨海浜水族園	共催/おりがみ
26	2018/03/24	EARTH HOUR&おりがみアクション@天王寺動物園	共催/おりがみ
後援/推薦事業			(主催)
1	2017/4~2017/7	湿地のグリーンウェイブ「湿地が守る人びとの暮らし	ラムサール・ネットワーク日本
2	2017/8/20	第3回田んぼ10年プロジェクト全国集会	ラムサール・ネットワーク日本
3	2017/11/23	国際シンポジウム「地域に根差した自然保護」	筑波大学

4	2017.10-2018.3	日本自然保護大賞 2017	日本自然保護協会
5	2018/3/2-3	国連世界野生生物の日 記念イベント 野生動物イラスト展～土肥優子作品集～ &「NALEDI:ある子象の物語」上映とトークセッション	野生生物保全論研究会
6	2018/1	世界遺産年報 2018(推薦)	日本ユネスコ協会連盟発行